

24場出場予定選手&展望



戸田	3/20 ~ 25	復調気配の徳増秀樹が 決定力の差を見せ付ける
ベストオブミス埼玉カップ		昨年は不調の時期もあり、特にエンジン出しに苦労が見られることが多かった徳増秀樹。それでも近況は復調気配。スタート力とさばきで圧倒するはず。出畑孝典は昨年4V。攻めのハンドルで対抗。直線系を仕上げて強気に運ぶのは太田和美、石塚久也。当地SGV歴がある馬袋義則も的確にまとめる。
◎	徳増 秀樹 出畑 孝典	
○	太田 和美 石塚 久也	
△	吉川 喜継 杉山 貴博	
×	麻生 慎介 桐本 康臣	
注	山下 和彦 馬袋 義則	

桐生	3/13 ~ 17	主役は江口晃生 PGI マスターズへ弾みをつける
第31回桐生タイムス杯		桐生通算43Vの江口晃生が主役を務める。4月に当地で開催されるPGIマスターズCに向けて、当節は念入りに下調べ。F持ちでSは無理できない状況だが、熱のこもった調整で足を仕上げ、大一番へ弾みがつく結果を残したい。2月の江戸川で優勝した大澤普司、地力のある坂口周や高野哲史もVを争う。
◎	江口 晃生 大澤 普司	
○	坂口 周 高野 哲史	
△	山田 雄太 松尾 充	
×	小野 達哉 吉田凌太郎	
注	和田 拓也 長谷川晴哉	

戸田	3/30 ~ 4/4	近況当地で大活躍の 島田賢人が中心
サンスポZBAT!杯		島田賢人は当地一般戦は2連続優勝中。2月の地区選でも優出4着と活躍している。エンジン調整がうまくはまっている印象。松村敏は昨年4V。一般戦は常に主役の走りを見せている。佐々木康幸は昨年3月に当地で24場制覇を達成している。軽量でエンジンを出す大豆生田蒼や成長著しい中野希一も十分。
◎	島田 賢人 松村 敏	
○	佐々木康幸 尾嶋 一広	
△	小山 勉 黒野 元基	
×	長野壮志郎 池田 雄祐	
注	大豆生田蒼 中野 希一	

桐生	3/21 ~ 26	金子拓矢と柴田光が中心 注目は仲航太と青木蓮
みどり市発足19周年記念 市議会議長杯		金子拓矢、柴田光が中心。前者はF休み明け、後者は前期F2でSが鍵になるが、地の利を生かした走りに期待したい。安定株の中辻博訓、決定力のある永井源や水摩敦も差はわずか。仲航太は昨年11月の平和島で初V、129期の青木蓮は12月の戸田で早くも2度目のVを飾っており、今が伸び盛りだ。
◎	金子 拓矢 柴田 光	
○	中辻 博訓 永井 源	
△	篠田 優也 水摩 敦	
×	上條 嘉嗣 黒柳 浩孝	
注	仲 航太 青木 蓮	

江戸川	3/11 ~ 16	接戦シリーズで江戸川 巧者が腕の見せどころだ
第43回東京スポーツ杯		強風が吹きやすい時期で、開催の潮目も中潮から大潮の上げ基調。江戸川巧者の出番か。自他共に江戸川巧者と認める飯島昌弘を主軸に推した。地元勢では桑原将光と永田秀二も当地戦は巧者と冠がつく選手。総合力で最上位は赤坂俊輔。近況も昨年12月から3Vをマークと冬場シーズンに入り好調モード。
◎	飯島 昌弘 桑原 将光	
○	赤坂 俊輔 永田 秀二	
△	鶴本 崇文 末永 祐輝	
×	向後 龍一 村越 篤	
注	中井 俊祐 泥谷 一毅	

桐生	4/1 ~ 6	当地好相性の守屋美穂 松本晶恵は地元で奮起
第18回ドラキリュウカップ ヴィーナスS第1戦		守屋美穂は昨年GIIレディースASを含めて4V、今年も優出多数で安定感が光る。当地との相性も良く、目下5連続優出中で2Vの好成績を残している。実力者の長嶋万記、鎌倉涼、攻撃センスが抜群の川井萌や高憧四季の活躍も見もの。松本晶恵は低調が続くものの、通算6Vの地元水面で一変も十分ある。
◎	守屋 美穂 松本 晶恵	
○	長嶋 万記 川井 萌	
△	鎌倉 涼 櫻本あゆみ	
×	高憧 四季 落合 直子	
注	関野 文 黒澤めぐみ	

江戸川	3/24 ~ 29	男子は当地巧者の山口達也 女子は平田さやか
男女W優勝戦 第24回関東 日刊紙BR記者クラブ杯		男子戦は当地に強い山口達也とSG戦士の椎名豊が主演クラス。この両名に当地正月戦を制覇した佐藤大佑が挑む。続く2月開催でも強伸び駆使して優出3着とらしさ。女子は小差接戦の陣容。地力と水面捌きのバランスで平田さやか。江戸川愛あふれる清水沙樹も、2月スピードCは予選突破と存在感。
◎	山口 達也 平田さやか	
○	佐藤 大佑 清水 沙樹	
△	椎名 豊 中田 夕貴	
×	川原 祐明 喜井つかさ	
注	森野 正弘 塩崎 桐加	

戸田	3/13 ~ 17	須藤博倫がVの中心 赤羽克也当地初Vなるか
WINWINパーク戸田8周年記念 ・東京スポーツ杯		須藤博倫は2月の地区選では実戦足を仕上げて準優進出。前期はF2だったが、長欠明けもリズム良くまとめている。地の利を生かして主役を演じる。服部幸男は直線を仕上げて攻撃的に運ぶ。同様に高田ひかるも伸びを仕上げて強攻策で盛り上げる。赤羽克也は当地16優出。そろそろ初Vを達成したい。
◎	須藤 博倫 服部 幸男	
○	赤羽 克也 高田ひかる	
△	永井 源 松崎祐太郎	
×	北川 潤二 赤羽 克也	
注	長岡 良也 青木 蓮	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

桐生：スポーツ報知・佐々木伸
 戸田：ガイド・長谷川
 江戸川：ガイド・野添
 平和島：ガイド・長船
 多摩川：トーチュウ改めマクール白川
 浜名湖：MOCHI

浜名湖	3/13 ~ 16	徳増秀樹VS前田将太
BTS焼津6周年記念 HOTELnanvanカップ		<p>徳増秀樹は今年に入ってリズム好転。ひと頃のスランプから完全に抜け出した。主役の座は揺るがない。前田将太が最大のライバル。洗練されたレース手腕を駆使して渡り合う。平田忠則がベテランならではの巧さばきで一角崩しをもくろむ。石原翼はA2級ランクも、地元なら勝率1点増しの評価が必要だ。</p>
◎	徳増 秀樹 前田 将太	
○	平田 忠則 石原 翼	
△	栗城 匠 松本 純平	
×	四宮 与寛 平見 真彦	
注	桑島 和宏 篠田 優也	

平和島	3/26 ~ 30	辻栄蔵が中心級、石川真二は当地を数多く走る
マンスリー BOATRACE杯		<p>ベテラン格では辻栄蔵、中堅格では岩瀬裕亮が中心級。一般戦を回ればいずれもV候補として名前を挙げなくてはならない実力者だ。石川真二は最近、約3か月に1回というペースで当地を走っていて、数をこなす有利さを生かし出足を上げると怖い存在に。当地実績に乏しいが若手では高橋竜矢に注目。</p>
◎	辻 栄蔵 岩瀬 裕亮	
○	石川 真二 高橋 竜矢	
△	黒井 達矢 須藤 博倫	
×	杉山 裕也 山田 雄太	
注	大澤 普司 平石 和男	

浜名湖	3/20 ~ 25	大上卓人が切れ味を発揮
Daiichi-TV ファイティングカップ		<p>総合力を勘案すると大上卓人がシリーズをけん引する存在だ。今期勝率は7点台半ばをマークしてムード上々。コース不問の自在テクニックで優勝を目指す。対抗に推す中島秀治はA1級として安定した実力を備えてきた。逆に田中信一郎は近況のリズムひと息なだけに、そろそろ復調のきっかけをつかみたい。</p>
◎	大上 卓人 中島 秀治	
○	田中信一郎 石田 章央	
△	飯島 昌弘 佐々木翔斗	
×	渡邊 英児 高懂 四季	
注	大橋純一郎 下寺 秀和	

平和島	4/2 ~ 7	石野貴之が実績断然、岡崎恭裕も底力上位
BTS河辺開設30周年記念		<p>石野貴之が参戦する。膝の治療のため昨年暮れから今年最初にかけて約3か月実戦より離脱。この原稿を執筆するのは復帰直後の時期にあたり調子の戻り具合は未知数だが、実績は断然上であり本命。底力的には岡崎恭裕も上位。秋山直之、濱崎直矢は一般戦で優出ラッシュ。中澤和志、伊藤将吉も大差ない。</p>
◎	石野 貴之 岡崎 恭裕	
○	濱崎 直矢 秋山 直之	
△	中澤 和志 伊藤 将吉	
×	梶野 学志 金子 拓矢	
注	野口 勝弘 坂元 浩仁	

浜名湖	3/29 ~ 4/3	坪井康晴と板橋侑我が地元で躍動
BTS富士おやま10周年本命戦ニッカン・コム杯		<p>A1級が8人、A2級が2人という構成の企画レース。優勝争いは坪井康晴と板橋侑我の一騎打ち必至だ。第2グループは今期7点近い勝率を残す小坂尚哉が1歩リードか。ベテランでは烏野賢太が面白い存在。今期はA1級返り咲きへ順調な成績を残す。若手では石渡翔一郎のデビュー初Vに期待する。</p>
◎	坪井 康晴 板橋 侑我	
○	今井 貴士 小坂 尚哉	
△	村岡 賢人 河野 大	
×	烏野 賢太 橋本 久和	
注	大原 祥昌 石渡翔一郎	

多摩川	3/20 ~ 24	今期好調の古結宏に地元の栗城匠、作間章ら迫る
多摩川巧者決定戦！第20回澤乃井カップ		<p>今期勝率7点マーク、近畿地区選でも優出と好調モードの古結宏。多摩川は得意コースの一つでもあり、主役の座は渡さないか。復調モードが出てきた地元の栗城匠がテクを發揮して逆転へ。当地の機出しが上手い杉山正樹や島田賢人の他に若手の國分将太郎や香川颯太がチャージをかける。</p>
◎	古結 宏 栗城 匠	
○	杉山 正樹 島田 賢人	
△	作間 章 中岡 正彦	
×	後藤 翔之 岡村 仁	
注	國分将太郎 香川 颯太	



多摩川	3/27 ~ 31	GIでの活躍続く井上一輝が勢いそのまま活躍だ
多摩川のおんなカップ		<p>江戸川周年、近畿地区選と今年に入ってGIでの活躍が続く井上一輝。今期勝率は唯一の7点台で本命の座は譲らない。今期は勝率を落としているが昨年は3Vと活躍した吉田凌太郎は注意。仲口博崇はSG覇者の意地を見せられるか。当地好相性の松尾拓に松下一也も有力。小林泰は東京3場制覇がかかる。</p>
◎	井上 一輝 吉田凌太郎	
○	仲口 博崇 松尾 拓	
△	鈴谷 一平 松下一也	
×	小林 泰 有賀 達也	
注	小野 達哉 飯山 泰	



常滑	3/18 ~ 21
BTS川崎開設記念競走	
◎	辻 栄蔵 市橋 卓士
○	杉山 裕也 森永 隆
△	北村 征嗣 前原 大道
×	若林 将 前田 翔
注	宇佐見 淳 森永 淳

**今年は好調ムード
辻栄蔵がV最右翼**

主役候補の辻栄蔵は宮島正月レースを制し、大村モーターボート誕生祭で準優勝。今年はいい流れで来ている。変幻自在なコーナーワークでシリーズリーダーを務めるか。当地連続優出中の市橋卓士が速攻力を生かして今度こそV奪取へ。地元で迎え撃つのは杉山裕也・前田翔・宇佐見淳ら。森永隆も好調だ。

蒲郡	3/14 ~ 19
GⅢ KIRIN CUP	
◎	松井 繁 深川 真二
○	船岡洋一郎 仲口 博崇
△	前田 聖文 山口 達也
×	井上 一輝 小坂 尚哉
注	村上 遼 松尾 拓

**強豪が集結も
王者・松井繁が貫禄を示す**

直後にSGクラシックを控えているのが松井繁、深川真二、船岡洋一郎の3選手。その中でも断然のネームバリューを誇る松井が王者の貫禄を示すか。前記3選手に山口達也、村上遼、そして地元の仲口博崇を加えた6選手がドリームメンバー。前田聖文は6点台後半を残せるだけの力をつけており注目だ。

常滑	3/25 ~ 30
オール進入固定RS第7戦 スカパー！第26回JLC杯	
◎	前田 滉 飛田 江己
○	常住 蓮 安河内 健
△	澤田 尚也 井本 昌也
×	濱野 斗馬 石本 裕武
注	大場 恒季 鰐部太空海

**地元なら主役は譲れない
前田滉が突っ走る**

各地の若手有望株が集結して激戦必至の様相。オール進入固定とはいえ、走り慣れた地元で主役を譲れないのが前田滉。スピード満点の走りですっ走る。今期2Vと絶好調の飛田江己が覚醒ムード。この勢いなら主力級の評価も十分。常住蓮・安河内健・澤田尚也・井本昌也・濱野斗馬と実力は拮抗している。

蒲郡	3/23 ~ 28
スポーツ報知杯争奪 第16回ビクトリーカップ	
◎	平本 真之 赤岩 善生
○	西橋 奈未 高田ひかる
△	平田 忠則 和田 拓也
×	鈴木 博 吉田 一郎
注	荒井 輝年 間嶋 仁志

**西橋奈未・高田ひかるの
挑戦を地元両雄が受ける**

男女混合の6日間シリーズ。近い将来にGIタイトルを嚆望されている西橋奈未と高田ひかるがVをもくろむが、地元の二枚看板が受けて立つ。平本真之は成績こそ上がってこないがテクニクは健在。蒲郡の最多V記録を更新中の赤岩善生は来春のクラシック出場に燃えている。当地前回Vの平田忠則も圏内。

津	3/16 ~ 21
日本財団会長杯 3支部ガチ対決シリーズin津	
◎	新田 雄史 宮之原輝紀
○	三角 哲男 佐藤 大佑
△	春園 功太 平田健之佑
×	坂本 雄紀 宇留田翔平
注	中山 将 中山 翔太

**新田雄史、宮之原輝紀の
一騎打ち**

三重、東京、群馬の3支部対抗戦だが、優勝争いは新田雄史、宮之原輝紀の一騎打ちが濃厚。調整面において津を知り尽くす新田が一步も二歩もリードしているか。正月、東海地区選に続く今年3回目の参戦ならなおさらだ。三角哲男、佐藤大佑が攻めの走りで2強を脅かすかも。群馬勢は坂本雄紀の浮沈が鍵。

蒲郡	4/2 ~ 7
第5回愛知・名古屋アジア・ アジアパラ大会協賛競走	
◎	太田 和美 江口 晃生
○	吉永 則雄 北川 潤二
△	武田 光史 永田 秀二
×	中村 有裕 川北 浩貴
注	山崎 哲司 飯島 昌弘

**太田和美、江口晃生が
リードもV争いは白熱必至**

SGタイトルを持つ太田和美、江口晃生、中村有裕が参戦。エンジン出し、レースでの駆け引きなど、ベテランらしさを発揮してV戦線をリードする。当地正月戦Vの吉永則雄が再現を狙って虎視眈々。武田光史、永田秀二、川北浩貴も舟券作戦からは外せない。地元勢は北川潤二、山崎哲司が牙城を守る。

津	3/24 ~ 29
BTS養老開設8周年記念 よーたんカップ	
◎	坂口 周 竹井 貴史
○	高倉 和士 大池 佑来
△	上田 龍星 中野 次郎
×	松尾 充 村上 遼
注	島川 光男 砂長 知輝

**主力大激戦も
地元の坂口周**

ハイレベルなV争いが期待できそう。福岡から竹井貴史、高倉和士が襲来。東京からは中野次郎、大池佑来と実績豊富な面々。さらには上田龍星、村上遼。どの顔を見ても機動力が高く、枠番不問の勝負が展開されるだろう。彼らを受け止める地元勢は坂口周、松尾充。地の利を存分に生かせるか。



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

蒲 郡：スポーツ報知・太田和良
 常 滑：とこなめ情報 土井勇士
 津 津：中日スポーツ・高橋
 三 国：実況アナウンサー・高橋敬亮
 住之江：安達弘持
 尼 崎：日刊・北條直治
 鳴 門：報知・田代

尼崎	3/12 ~ 16	古結宏が地の利を發揮
第23回 報知口ろスカップ争奪戦		地元の古結宏がシリーズをけん引。2月の近畿地区選でG I 優出。今年はすでにV（1月丸亀一般戦）も飾っていて流れはいい。昨年は意外にも地元優出がなく、走り慣れた水面で躍動したいところ。スピード上位の小池修平が対抗格となる。尼崎でV実績がある森定晃史、伊藤将吉や岡村仁が食らいつく。
◎	古結 宏 永田 啓二	
○	小池 修平 今井 貴士	
△	森定 晃史 清水 敦揮	
×	伊藤 将吉 繁野谷圭介	
注	岡村 仁 渡辺 真至	

三国	3/19 ~ 24	地元の武田光史が首位候補も混戦ムード！
坂井市制19周年記念		男女混合の6日間節。首位候補としてあげたいのは地元の武田光史。今年地元で行われた地区選は無念の途中帰郷。一般戦のここは奮起の一戦。相手筆頭は今年1月に既に2度優勝を飾っている藤原啓史朗。前回当地参戦時は節間6勝をマークして優勝した田中和也、速攻力光る前田篤哉など混戦ムード。
◎	武田 光史 藤原啓史朗	
○	田中 和也 前田 篤哉	
△	前沢 丈史 長野壮志郎	
×	伊藤 誠二 興津 藍	
注	渡辺 浩司 松田 竜馬	

尼崎	3/18 ~ 23	デビューの地で守屋美穂が主導権を握る
オールレディース競走 あまがさきピンクルカップ		守屋美穂にとって当地はデビュー地。優勝戦で1枠こそあるが、意外にもVがない。今度こそと強い気持ちで挑む。田口節子、長嶋万記、平高奈菜、川野芽唯は尼崎でV経験もあり台頭する。細川裕子は相性抜群の水面。エンジンも出す印象が強く侮れない存在。一方、鎌倉涼は苦手意識を克服したいところ。
◎	守屋 美穂 細川 裕子	
○	田口 節子 鎌倉 涼	
△	長嶋 万記 土屋 千明	
×	平高 奈菜 日高 逸子	
注	川野 芽唯 川井 萌	

三国	3/31 ~ 4/5	前回当地優勝飾った宮之原輝紀に注目！
新東通信杯		混戦ムードも、宮之原輝紀に期待が集まる。今年に入って優出ラッシュ。2月の蒲郡では準パーフェクトVを飾っており、前回当地参戦時も優勝と水面相性も○。畑田汰一は自慢のスタート力で一気に仕掛けるレースで主導権を握る。今年2Vのベテラン三角哲男や安定したレース運び魅力の石塚久也も圏内。
◎	宮之原輝紀 畑田 汰一	
○	三角 哲男 石塚 久也	
△	金子 賢志 岡村 慶太	
×	重木 輝彦 北野 輝季	
注	佐藤 悠 金田 智博	

尼崎	4/2 ~ 6	調整力ある赤岩善生が中心
BOATBOYCUP		赤岩善生が1月以来の登場。卓越した調整力でエンジンを仕上げて、シリーズをけん引。西村拓也は当地G I、SGでも優出経験がある。今度こそVへ向けて力こぶ。田中幸一郎は技ありのハンドルが見逃せない。益田啓司、松井洪弥は思いきりの良さが武器。特に松井は当地相性がいい。篠田優也が迎え撃つ。
◎	赤岩 善生 篠田 優也	
○	西村 拓也 佐藤 博亮	
△	田中幸一郎 中野 仁照	
×	益田 啓司 溝口海義也	
注	松井 洪弥 石田 章央	

住之江	3/15 ~ 20	石本裕武が最優秀新人の藤原碧生に挑戦状！
ルーキーシリーズ第6戦 スカパー！・JLC杯競走		昨年は藤原碧生がV5と大ブレイクを果たし、令和6年の最優秀新人賞を受賞した。ここも勢い味方にシリーズを牽引する。地元勢では未来の最優秀新人候補の石本裕武に期待したい。今年は年始の抱負で初のA1級昇格と最優秀新人賞を宣言。前田滉、黒野元基、井本昌也はルーキー戦では格上の存在だ。
◎	石本 裕武 藤原 碧生	
○	前田 滉 濱野 斗馬	
△	黒野 元基 常住 蓮	
×	井本 昌也 飛田 江己	
注	竹間 隆晟 佐藤 航	

鳴門	4/6 ~ 9	新機、新艇シリーズは男女混合の短期決戦
第35回鳴門市長杯競走		新エンジン、新ボート導入戦は男女混合の4日間で行われる。短期戦だけに滑り出しが重要だが、好調モードの池永太、渡邊雄一郎が好ダッシュで主役の座を競う。地元丸亀の正月戦を制した竹田和哉に、地元勢は地力をつけてきた葛原大陽に、女子勢の喜多須杏奈に注目。
◎	池永 太 渡邊雄一郎	
○	竹田 和哉 吉田凌太郎	
△	石渡 鉄兵 葛原 大陽	
×	深井 利寿 橋本 年光	
注	平田さやか 喜多須杏奈	

住之江	3/31 ~ 4/5	SG制覇の水面で篠崎仁志が輝きを放つ
アクアコンシェルジュカップ		当地で篠崎仁志は20年オールスターでSG初優勝。実力、相性ともにここでは抜けた存在だ。地元勢では岡村仁が大將格。層が厚い大阪支部だが23年にはオール大阪Vも経験。地元なら気合いの走りを見せてくれるはず。SG覇者の柳沢一も地力上位で、1月に優勝した赤坂俊輔は当地連続Vに挑戦する。
◎	岡村 仁 篠崎 仁志	
○	柳沢 一 赤坂 俊輔	
△	市橋 卓士 柴田 光	
×	吉川 昭男 本多 宏和	
注	中島 秀治 寺本 重宣	



宮島	3/26 ~ 31	
にっぽん未来プロジェクト競走 in宮島		
◎	重成 一人	齊藤 仁
○	萩原 秀人	和田 兼輔
△	永井 彪也	羽野 直也
×	古賀 繁輝	市川 哲也
注	里岡 右貴	中山 雄太

**A級レーサーが多数参戦
注目株は宮田龍馬**

好メンバーが集結する「にっぽん未来プロジェクト競走」の6日間決戦。今大会も例に漏れず参加するA級レーサーは全体の半数以上となる23名が参戦。軸は重成一人、萩原秀人、和田兼輔、永井彪也あたりだが、地元で奮起の市川哲也に古賀繁輝の台頭も十分。連日の狙い目としては伸び盛りの宮田龍馬。

丸亀	3/14 ~ 17	
大阪スポーツカップ		
◎	森高 一真	西橋 奈未
○	榎 幸司	鈴木 博
△	中村 尊	中村 魁生
×	清水 攻二	喜井つかさ
注	向井 美鈴	水野 望美

**短期決戦の男女混合戦
森高一真が断然のV候補**

2月のG I 四国地区選手権では惜しくも準Vに終わった森高一真だが、シリーズを引っ張っていたのは間違いなくこの男。今節は断トツのV候補としての登場だ。短期決戦だけに波乱含みでもあるが、女子選手の活躍にはやはり注目。筆頭は西橋奈未の速攻力になるか。今期好調の榎幸司、鈴木博も侮れない。

徳山	3/28 ~ 4/2	
日本トーター杯争奪戦		
◎	白井 英治	池永 太
○	東本 勝利	中村 尊
△	尾上 雅也	中 亮太
×	君島 秀三	秦 英悟
注	長尾 章平	松本 一毅

**白井英治が
地元で圧倒する**

V候補の筆頭は白井英治。一般戦回りとなっているが、やはり格上の存在で、今年初登場の地元水面で大暴れだ。池永太も今年は芦屋、児島で優出と調子は悪くないが、取りこぼしも目立っているだけにリズムに乗るためにも奮起の走りを披露する。東本勝利、中村尊はさばき力が魅力。一発候補は中亮太だ。

丸亀	3/19 ~ 24	
ナイター王決定戦！ 楽天銀行杯		
◎	中田 竜太	三嵩 誠司
○	中田 元泰	畑田 汰一
△	柳生 泰二	原田 篤志
×	桑原 悠	小池 哲也
注	三好 勇人	佐々木和伸

**京極賞覇者の中田竜太
三嵩誠司が迎え撃つ**

中田竜太は第65回G I 京極賞の覇者。丸亀水面との相性は抜群だ。地元からは三嵩誠司が迎え撃つ。ベテランと呼ばれるようになって速攻力に衰えはない。中田元泰、柳生泰二も京極賞での優出歴がある。若い世代では畑田汰一のスピード戦に注目。桑原悠、原田篤志が安定感抜群の走りをみせる。

下関	3/29 ~ 4/1	
海響ドリームナイター COME ON! FM CUP		
◎	田口 節子	白神 優
○	川野 芽唯	松崎祐太郎
△	山川美由紀	今村 暢孝
×	細川 裕子	馬場 剛
注	小野 生奈	三村 岳人

**田口節子を筆頭に
強力女子勢が主力を形成**

田口節子を筆頭とした女子勢が強力だ。中でも田口は昨年11月の当地G II レディースチャレンジカップで優出5着の戦績。今年も1月戸田のW優勝戦でVを挙げており主役の座は渡さない。LCC準Vで蒲郡クイーンズクライマックスへの道を自ら開いた川野芽唯も当地V歴があり水面相性は良好だ。

丸亀	3/31 ~ 4/3	
Bカードメンバー大感謝祭 日本トーター杯		
◎	近江 翔吾	丸岡 正典
○	平尾 崇典	木谷 賢太
△	前田 篤哉	作間 章
×	谷村 一哉	桐本 康臣
注	谷川 祐一	平田健之佑

**地元近江翔吾が奮起
丸岡正典当地ダービーV**

近江翔吾は2月のG I 四国地区選手権で優勝戦4着。地元での存在感をみせつけた。一般戦なら負けるわけにはいかないか。堂々のV候補だ。丸岡正典は08年丸亀ボートレースダービーでSG初Vを飾った。相性抜群の水面で躍動する。平尾崇典が巧みなレース運びで進出。木谷賢太が地元の意地をみせる。

下関	4/5 ~ 10	
にっぽん未来プロジェクト競走 in下関ルーキーS		
◎	島川 海輝	井本 昌也
○	飛田 江己	西岡 顕心
△	中村 日向	濱野 斗馬
×	西丸侑太郎	佐藤 航
注	為本 智也	竹間 隆晟

**島川海輝、井本昌也が
地元の牙城を守る**

地元期待の島川海輝は昨年3回の優勝を重ねて躍進を遂げた。今年1月の当地周年記念ではピット離れでインを奪いG I 初勝利。2度目の当地Vへ視界は良好だ。井本昌也も地元初Vに懸ける思いは人一倍だ。2月唐津で5度目の優勝を果たした飛田江己、四国地区選でG I 初優出の西岡顕心も強力。

宮島	3/12 ~ 17	
ヴィーナスシリーズ第23戦 第10回マクール杯		
◎	平山 智加	海野ゆかり
○	渡邊 優美	勝浦 真帆
△	魚谷 香織	松尾 夏海
×	今井 美亜	大瀧明日香
注	山口真喜子	若狭奈美子

激戦必至の女子戦 注目は今期好調の勝浦真帆

初日、2日目の12Rでドリーム戦を決定するが、この1号艇に選出されているのは平山智加と地元の海野ゆかり。平山の安定感相変わらずで、海野も破壊力あるハンドワークは健在。この両者がV戦線をけん引。ただ注目は勝浦真帆。今期勝率は自身初のA 1級も視野に入るほど好調なので好走に期待だ。



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

丸 亀：A
 宮 島：B R宮島専属記者 宮崎経督
 徳 山：日刊・洲上
 下関：西日本スポーツ・岡部
 若松：スポーツ報知・井上誠之
 芦屋：スポーツ報知・井上泰宏
 福岡：スポニチ・鳥飼

芦屋	3/22 ~ 27
日本トーター杯争奪戦	
◎	森高 一真 石野 貴之
○	林 美憲 江口 晃生
△	服部 幸男 清水 敦揮
×	益田 啓司 佐藤 大介
注	松尾 夏海 伊藤 啓三

特別戦を沸かす森高一真、実戦復帰石野貴之が軸

2月Fの影響は気になる森高一真だが四国地区選で準Vと記念戦線での存在感が光る。石野貴之はケガから復帰2節目で優出と力を証明。森高と四国地区選で優勝争いを繰り広げた林美憲やインファイトの江口晃生ら上位陣は強力だ。地元期待は益田啓司で、俊敏コーナー戦は高速コースの芦屋にピッタリ。

若松	3/12 ~ 15
ミッドナイトボートレース 公営レーシングプレス杯	
◎	丸岡 正典 濱崎 直矢
○	水摩 敦 太田 和美
△	柳沢 一 古澤 光紀
×	是澤 孝宏 竹田 辰也
注	溝口海義也 林 美憲

当地ミッドナイト連覇がかかる丸岡正典が主役

昨年12月のミッドナイトレースを圧倒的なパワーに仕上げた丸岡正典が、再びミッドナイトに登場。とはいえ、近況絶好調の濱崎直矢、地元戦では別格の強さを発揮する水摩敦、ネームバリュー抜群の太田和美ら強敵は多いうえ、古澤光紀、溝口海義也、竹下大樹ら地元勢もなかなかの顔ぶれ。

芦屋	3/31 ~ 4/3
西部ボートレース 記者クラブ杯	
◎	吉川 喜継 石倉 洋行
○	妹尾 忠幸 浜先 真範
△	森永 淳 原田 篤志
×	小池 哲也 宗行 治哉
注	山田 丈 安東 幸治

吉川喜継が得意水面でV筆頭

吉川喜継にとって芦屋は走れば好走する得意水面。優勝からは遠ざかっても現在連続準V中と不安はない。吉川を筆頭に8人のA1級レーサーが登場するが、近況のリズムでは余裕でA1級復帰ペースの石倉洋行、浜先真範、宗行治哉の方が上。妹尾忠幸や森永淳、原田篤志ら安定勢力も確実に上位争いに絡む。

若松	3/17 ~ 22
創刊70周年記念 サンケイスポーツ杯	
◎	松村 敏 里岡 右貴
○	今村 暢孝 白神 優
△	吉川 昭男 山崎 哲司
×	重木 輝彦 前野 竜一
注	葛原 大陽 宮崎 奨

松村敏と里岡右貴の地元勢が2強を形成する

クラシック直前だけにエンジンは恐らく低調機シリーズ。それならやはり地元勢が優位に運べそうな雰囲気。文句なしの2強は松村敏と里岡右貴で共に当地実績は十分。いや、大ベテランの今村暢孝も加えて3強とすべきか。最近は軽量女子の活躍も目立っており、深川麻奈美や上田紗奈らの活躍も楽しみ。

福岡	3/13 ~ 18
ニッカン・コム杯	
◎	竹井 貴史 赤岩 善生
○	村岡 賢人 尾嶋 一広
△	森野 正弘 片橋 幸貴
×	谷川 祐一 為本 智也
注	植田 太一 乙藤 智史

当地巧者の竹井貴史が5度目の福岡制覇に照準

竹井貴史は昨年12月の周年記念こそ凡機に苦しみ予選敗退に終わったが、一般戦は2連続V中で水面相性は◎。通算5度目の当地Vに照準だ。対抗格は熱きファイター赤岩善生。持ち前の整備力で新エンジンをさっぱり仕上げる。村岡賢人、尾嶋一広もパワー負けがなければ確実に上位進出してくるだろう。

若松	4/3 ~ 6
一般戦	
◎	安河内 健 椎名 豊
○	山口 達也 出畑 孝典
△	寺田 千恵 坂口 周
×	三浦 敬太 郷原 章平
注	清水 愛海 田中 駿兵

エンジン出し好調な安河内健がV候補筆頭

今期7点台の勝率で突っ走っている安河内健はエンジン出しが好調。前回当地戦も節イチ級のパワーに仕上げたばかり。椎名豊は前期F2の影響で今期は本来の走りがまだ見られていない点が不安。山口達也、出畑孝典、寺田千恵、坂口周、郷原章平らもV争いへ顔を出す。楽しみなのは清水愛海の走り。

福岡	3/22 ~ 27
誰が勝っても福岡初優勝！九州プロレス杯	
◎	小池 修平 濱崎 直矢
○	坂元 浩仁 梶野 学志
△	北野 輝季 松本 純平
×	永田 秀二 長岡 良也
注	鶴本 崇文 坪口 竜也

年明けから好調目立つ小池修平が優勝候補筆頭

冠名通り誰が勝っても福岡初Vとなるシリーズ。小池修平は21年9月の当地ルーキーシリーズで優勝戦1号艇の経験がある。近況の勢いなら優出は外さない。速攻派の濱崎直矢は当地通算5回の優出経験。持ち味の攻めるレースでVを狙う。坂元浩仁は前回当地戦で優出3着。ウネリは乗りこなせるタイプだ。

芦屋	3/14 ~ 18
マンスリー BOATRACE杯	
◎	新開 航 石川 真二
○	三浦 永理 長尾 章平
△	鈴谷 一平 藤山 翔大
×	石橋 道友 川原 祐明
注	烏野 賢太 山口 裕二

純地元の新開航が優勝候補筆頭

純地元水面で新開航が主役の座を譲らない。当地前回の正月戦でもしっかり優出とその存在感を示した。石川真二はピット離れ仕様がなかなかハマらないが、出走を仕上げて内寄りから勝負するスタイルは変わらない。女子レーサーで注目は三浦永理。優勝経験はないが、走れば混合戦でも好走する得意水面だ。



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

唐津：報知・高木
大村：報知・長谷

大村	3/11 ~ 14	
長崎新聞社杯		
◎	藤原啓史朗	北村 征嗣
○	中辻 博訓	小池 哲也
△	石倉 洋行	野口 勝弘
×	中越 博紀	馬野 耀
注	山下 和彦	松本 晶恵

当地前回Vの藤原啓史朗 がシリーズリーダーか

今年1月には稲田浩二を2コースまくりで撃破して優勝したのが藤原啓史朗。超抜18号機を味方にすごい伸びに仕上げた。北村征嗣は当地6連続で優出中と相性は抜群。もちろんレースもうまい。中辻博訓は安定したスタート力が武器。野口勝弘は当地前は準優1号艇でFを切っただけにリベンジ戦だ。

福岡	4/4 ~ 9	
auじぶん銀行賞		
◎	守田 俊介	塩田 北斗
○	北山 康介	海野康志郎
△	和田 拓也	清水 敦揮
×	向後 龍一	田中 和也
注	木下 大將	水摩 敦

大本命守田俊介を地元の 塩田北斗が止められるか

新年度最初の開催となる6日間シリーズ。前回昨年3月の一般戦を難なく制し、当地通算11優出6Vと高い決定力を誇る守田俊介が中心。地元勢では当地通算7Vの塩田北斗が対抗格。打倒守田へ秘策を練りたい。北山康介、海野康志郎はエンジンがうまく仕上げれば一気の台頭も期待できる。

大村	3/20 ~ 23	
ミッドナイトボートレース in大村9th マイル杯		
◎	北山 康介	秋元 哲
○	伊藤 将吉	吉永 則雄
△	佐藤 博亮	横澤 剛治
×	大須賀 友	加藤 翔馬
注	郷原 章平	眞鳥 章太

北山康介と秋元哲、ナイター強い吉永則雄に注目

北山康介は当地を走る機会は多くないが、6年半ぶりの登場となった昨年6月のGⅢで優勝。103期で同期の秋元哲とともに優勝争いをリードするか。吉永則雄が今年に入って1月に蒲郡、2月には丸亀で優勝。ナイター巧者が発祥地でも暴れる。伊藤将吉、佐藤博亮、横澤剛治らも優勝候補だ。

唐津	3/16 ~ 21	
私のイケメン選手権		
◎	白井 英治	古賀 繁輝
○	安河内 健	平尾 崇典
△	岡村 慶太	奈須 啓太
×	妹尾 忠幸	黒井 達矢
注	津田 陸翔	北川 太一

唐津大得意の 白井英治が主役

GⅢ覇者の白井英治が主役を張る。唐津はGⅡMB大賞など6V誇るドル箱水面。調子微妙だが、白星量産する本来の姿に期待する。相手筆頭は地元15Vの古賀繁輝。安河内健は1号艇で優出しながら惜敗するなど地元優勝は遠いが、ターンの鋭さは周知の通り。高配の使者としては津田陸翔が気になる。

大村	3/27 ~ 4/1	
おおむら桜祭り競走		
◎	平高 奈菜	石橋 道友
○	森永 隆	榎 幸司
△	前田 聖文	竹田 和哉
×	山本 寛久	宇野 弥生
注	村松 修二	乙藤 智史

スピードクイーンVの 平高奈菜が花を添える

初代スピードクイーンメモリアル覇者となった平高奈菜が登場。今年のクイーンは当地で開催されるので、良いイメージを残しておきたい。地元では23Vを誇るミスターオムラ石橋道友が意地を見せたいところ。榎幸司も19年5月ぶりの地元Vへ虎視たんたん。攻撃力のある宇野弥生にも注目したい。

唐津	3/25 ~ 30	
ヴィーナスシリーズ第24戦 ゾンビランドサガR杯		
◎	平山 智加	渡邊 優美
○	寺田 千恵	浜田亜理沙
△	勝浦 真帆	小芦り華
×	山口真喜子	海野ゆかり
注	山下 夏鈴	野田なづき

今回こそ当地初優勝を 飾りたい寺田千恵

寺田千恵、平山智加、浜田亜理沙、渡邊優美のA1級組は攻め幅も広く調整力も一枚上手の存在。V争いに欠かせない。小芦り華は自在駆けで地元初優勝に挑む。昨年は蒲郡で2Vの勝浦真帆は、初優勝で自信を付け今期はA1級入りへ一直線。長崎支部期待の山口真喜子のスピード戦にも注目集まる。



唐津	4/4 ~ 7	
ズバット!! なべチャンネル杯		
◎	吉田 俊彦	森定 晃史
○	中田 元泰	麻生 慎介
△	里岡 右貴	小野 達哉
×	立間 充宏	吉田 一郎
注	喜井つかさ	刑部亜里紗

混戦ムード漂う 男女混合の短期決戦

唐津を得意とする吉田俊彦と森定晃史が戦線を引っ張る。吉田は3V、森定は2Vを数え、森定は3節連続優出中。中田元泰、麻生慎介、里岡右貴、小野達哉は攻め幅が広くV争いには顔を出す。女子はA1級の喜井つかさ、思い切りがいい刑部亜里紗が男子を相手に好レースを展開する。